

2022年度の事業報告と決算報告(案)

2023年1月20日

日本機械学会関東支部シニア会会長

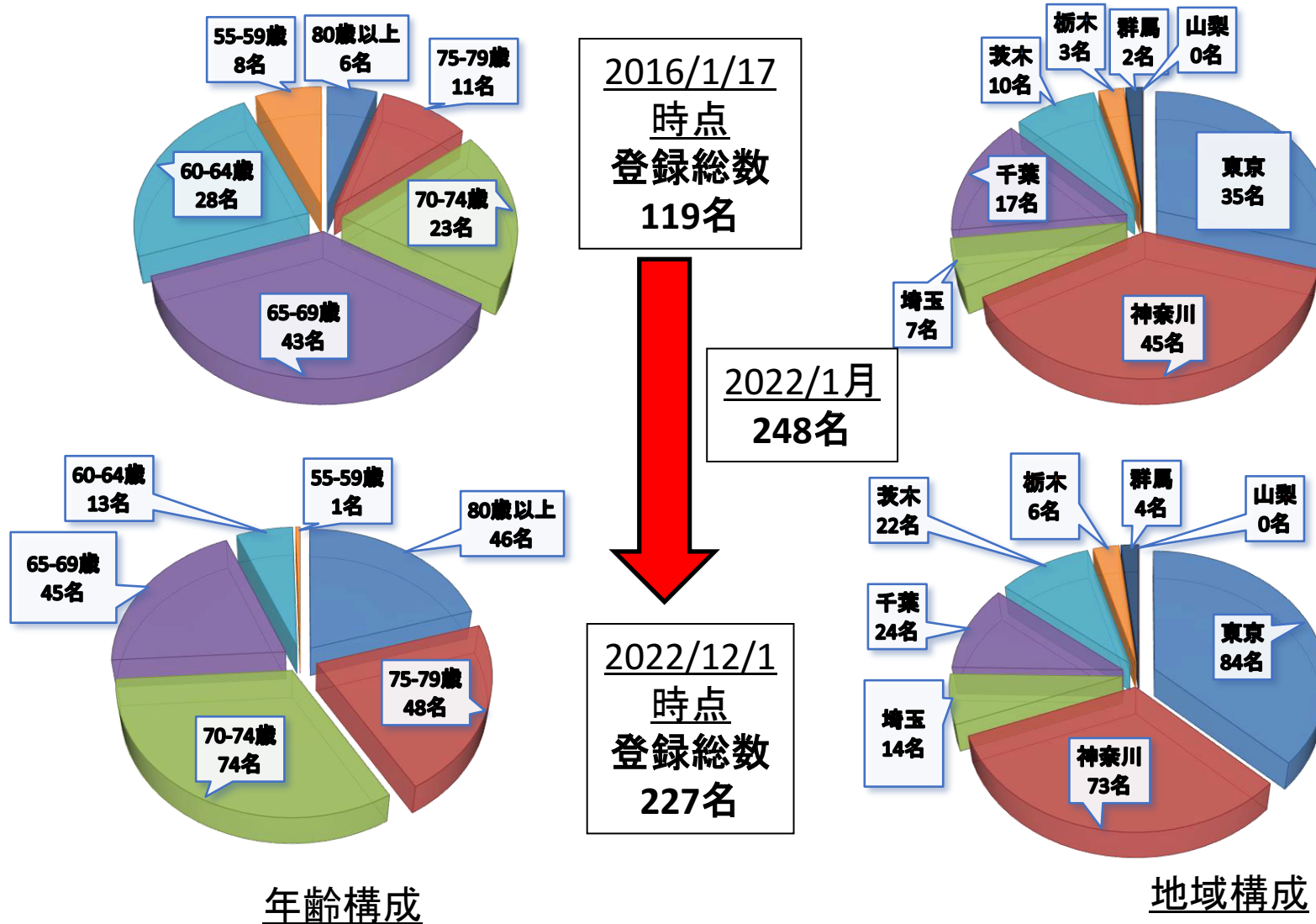
鳥毛 明

1. 関東支部シニア会登録者の現状
2. 2022年度運営委員会構成
 - ・2022年度関東支部シニア会の委員分担表
3. 2022年度関東支部シニア会の事業計画と実績報告
4. 2022年度事業報告
 - 4-1. シニア会主催行事・運営委員会
 - ・シニア会第5回特別講演会
 - ・シニア会2022年度第一回交流会
 - ・「シニア会たより」の現状について
 - 4-2. 支部活動に対する支援・学生会との交流会
 - ・【卒研発表会後の関東学生会ーシニア会対話会 開催報告】
 - ・【2022年度 関東学生会ーシニア会交流会 第1回 開催報告】
 - 4-3. 「エンジニア塾」行事
 - ・「エンジニア塾」
5. シニア会2022年度決算報告(暫定版)
(参考資料)2022年度事業実施にあたって

1. 関東支部シニア会登録者の現状(2022/12/23現在)

会員登録状況

- ・シニア会会員登録者は設立準備総会(2016/1/17)時点で119名
- ・メカトップ資料にシニア会入会の勧めを同梱・PRLし、2022/12/23現在で**227**名



2. 2022年度運営委員会構成

4/23

(シニア会運営委員会で選任)

会 長 鳥毛 明 (新任)
幹 事 高屋 真二 (新任)
顧 問 中山 良一
顧 問 野口 昭治
委 員 新山 時弘
委 員 曾佐 豊
委 員 伊藤 裕道(新任)
委 員 四阿 佳昭(新任)
委 員 平澤 茂樹(新任)
委 員 福地 真理夫(新任)

以上、任期は2年とし再任は1回まで

(支部運営会で選任)

監 事 [支部参与] 渋川 直紀
支部シニア会担当幹事 下平 貴之
学生会担当幹事 松谷 巖

以上、任期は原則1年とし再任は1回まで

なお、前委員の中村 城治、笠井 憲一両氏には委員外で活動にご協力頂いた。

担当職員: 渡邊 賢太(関東支部事務局)

2022年度関東支部シニア会の委員分担表

実施時期	項目	リーダー	メンバー			内容	備考	企画案(2021年度以前より)
随時	シニア会たより	新山	鳥毛	福地		シニア会たよりの 校閲・編集		運営委員への依頼
7,9,11月	シニア会メンバー交流会	新山	伊藤	四阿		交流会の企画運営		
6,11月	見学会	曾佐	平澤			見学会の企画運営		候補場所: 1)JALまたはANA整備工場(羽田) 2)物流センター(例えば、ヤマトホールディングス 羽田クロノゲート等) 3)元気な中小企業 (JSME受賞会社など)
10月	特別講演会	中山	福地			特別講演会の 企画運営		候補者:機械遺産関係者
6,8,9,11, 2月予定	エンジニア塾	中山	鳥毛	高屋	福地	エンジニア塾の 企画運営	本阿弥、 学生会担当	2月末より準備
			曾佐	伊藤	四阿			
5月	学生会との 交流会	新山	曾佐			学生会交流会 の企画	学生会担当	学生会との調整
3月	学生会発表会 コメンテータ	中山	平澤			学生講演会への コメンテータ派遣	村上	

(反省)

本年度は一部委員に活動が偏った運営になったため、
次年度は委員の活動を分散させる運営にしていきたい。

3. 2022年度関東支部シニア会の事業計画と実績

6/19

項目と目的	計画	実績
1. シニア会主催行事・運営委員会		
1-1) シニア会総会の開催 年度活動成果と次年度計画の報告と承認 付帯行事（特別講演会など）を開催する	年1回（1月）Web開催	年1回（2023年1月20日）Web開催
1-2)シニア会主催の特別講演会	2回（10月と1月）	2回（10月と1月）実施
1-3)見学会	2回（6月と11月）	新型コロナウイルス感染状況から、 本年度は実施せず。
1-4)シニア会メンバーの交流会 シニア会員が保有する技術・経験などの話題の提供	3回（7月、9月、11月）	1回（2022年11月11日）実施
1-5)「シニア会たより」の発行	月次（12回）発行	運営委員会立上遅れのため、 13～17号迄の5回発行済み。 残る2回を含めた4回掲載予定。
1-6)懇親会(費用は参加費)	特別講演会1回、交流会2回の合計3回	Web開催のため、 実施せず。
1-7)運営委員会の開催 シニア会会務の企画・運営の推進	3か月に1回を目途に運営委員会を開 催する	6月、8月、11月に実施済み、 3月引継ぎ（予定）の4回実施
2. 支部活動に対する支援・学生会との交流会 [コメンター及び人生の先輩として学生との交流を図る]		
2-1)関東学生会第61回学生員卒業研究発表講演会 2022年3月14日 Web開催	シニア会員コメンター派遣 学生会との対話会	シニア会員コメンター26名派遣 学生会との対話会実施
2-2)学生会との交流会	2022年5月予定	2022年6月18日実施
2-3)関東学生会第62回学生員卒業研究発表講演会 2023年3月16日Web開催 【2023年度活動】	シニア会員コメンター派遣 学生会との対話会	準備中（シニア会員コメンター 24名以上確保が必要） 準備中
3. 「エンジニア塾」 詳細は別途資料参照	2期目実施	2期目実施、 2023年2月に修了式実施予定
4. 2022年度予算・決算	支部からの補助金予算 300,000円 (残額は支部会計に組み入れ) エンジニア塾塾生負担金あり。 懇親会は懇親会参加費で実施する。	現状の決算見込みは別表の通り。 (P18参照) 塾生からロボット負担金徴収。 懇親会は本年度なし。

4. 2022年度事業報告

7/19

4-1. シニア会主催行事・運営委員会

2022年6月10日	第1回シニア会運営委員会Web開催
2022年8月26日	第2回シニア会運営委員会Web開催
2022年11月25日	第3回シニア会運営委員会Web開催
2022年10月14日	第5回特別講演会実施『「ものづくり」が始動した幕末から明治を振り返って』 講師：早稲田大学名誉教授 浅川基男様 参加者52名 (P8参照)
2022年11月11日	第1回メンバー交流会実施「メーカーが話したくない転がり軸受の実態」 講師：東京理科大学教授 野口昭治様 参加者40名 (P9参照)
2023年1月20日	2022年度関東支部シニア会総会Web開催
2023年1月20日	第6回特別講演会「経済の眼を通して見る日本の機械産業」 講師：元中央大学・立教大学兼任講師 近藤正彦様
2023年3月予定	2023年度第1回シニア会運営委員会Web開催予定 引継ぎと2023年度担当決めと計画概要決定 [次年度活動]

シニア会行事

- ・特別講演会：計画2回⇒10月、1月の2回実施
- ・見学会：計画2回(6月と11月)⇒新型コロナの状況で中止判断する。
- ・メンバー交流会：計画3回(7, 9, 11月)⇒11月の1回実施
(理由)運営委員会立ち上げ遅れのため。
- ・「シニア会たより」の現状については、P10,11を参照願います。

シニア会第5回特別講演会

8/19

1. 日 時:2022年10月14日(金) 15:00~16:40
2. 講 演:「ものづくり」が胎動した幕末から明治を振り返って
3. 講 師: 早稲田大学名誉教授 浅川 基男 氏
(ZOOMによる遠隔講演会)
4. 参加者数 52名(司会 中山良一)



講師 浅川基男

5. 講演概要:

「機械学会誌」に2022年1月号から掲載している「日本はものづくりで勝てないのか!？」から、日本のものづくり大国を起動させた鍋島直正・小栗忠順・大隈重信らの足跡の紹介。同時に、歴史的振り返りから、今後の日本がどの様になるべきかの提案をされた。

歴史的振り返りでは、

- ・幕末の佐賀藩主鍋島直正が、諸外国の技術を藩内で取り込んだ事例の紹介と、それらのに係わった方々の姿勢及び貪欲な知識習得力と実践力が明治期の各種の技術へと繋がった。
- ・小栗忠順が横須賀の製鉄所建設などの幕府改革活動で、日本が新しい国作りの端緒を開き、明治政府の産業引き継がれた。例えば、日本造船産業が明治から昭和までの最盛期をもたらした。
- ・大隈重信は、明治初期に文明開化に関する各種の政策を立案、実施し、特に今年で150周年の鉄道普及に大きく貢献した。さらに、東京専門学校(早稲田大学の前身)では、当時の外国人エンジニアに替わる人材として、日本の学生を理工学系教育で育成することにも取り組んでいた。

これら歴史的な活躍した地域、場所に偉業を偲ばせる史跡が全国各所に残されたものを紹介された。

日本のものづくり産業が復活する具体的な提案として、外国人研究者／海外企業の日本への招聘に関する二つの事例紹介があった。

現在、既にスポーツでは、ラグビーや大相撲など海外出身者が大活躍して、全体として、盛り上がっているなど、海外からの人的・資金的刺激で、日本の復活を図る試みの提案を頂いた。最後に、欧米および日本の研究者、経営者、技術者等の方々の至言を紹介頂いて、講演を終了した。

シニア会2022年度第一回交流会

9/19

日 時: 2022年11月11日(金) 15:00-16:30 参加者数 40名
(Zoomによる遠隔講演会)

講 演: 「メーカーが話したくない転がり軸受の実態」

講 師: 野口 昭治氏(東京理科大学 教授)

講演概要:

私は大学院修士課程を修了してから現在まで、メーカー・大学で転がり軸受の研究をしてきた。その間、メーカーや研究者でないとわからない転がり軸受の実態をいくつか発見した。メーカーがユーザーに対しては絶対に話したくない内容であるが、逆にユーザーの方が実感しているかもしれない、転がり軸受を長年使っていたのに気づかなかった・・・という事例をいくつか紹介する。

(内容)

- (1) 高温放置による鋼球の幾何学的形状変化: 高温に放置しただけでグレードダウンする
- (2) 回転精度測定における問題点: 規格は重りの質量だけしか決まっていない
- (3) 必要最小荷重: 根拠は経験的な値?
- (4) グリース潤滑における許容回転速度: グリースは高速で、意外に低トルク?
- (5) 疲労寿命はハウジング設計で変わる

(まとめ)

本講演では、軸受メーカーがあまり触れて欲しくない内容を調査・実験を元にお話した。ユーザーにとっては、軸受メーカーのカタログに書かれていることを頼るしかないが、軸受メーカーも基準がよくわかっていない規格を頼りにしている場合もある。温故知新ではないが、当たり前と思われていることを深く掘り下げていくと思わぬ発見がある(かもしれない)。こうして新たな技術が確立されることを期待する。



講師 野口昭治

「シニア会たより」の現状について(1/2)

10/19

シニア会会員の相互交流を積極的に進める場として「シニア会たより」を2021年1月からWeb掲載開始し、会員からのメール投稿を1回/月で掲載(Web)の目標で

- ・初年度(2021年度)は12号迄発行しましたが、
- ・2年目(2022年度)は運営委員会立上遅れのため、13~17号迄の5回発行済みです。残る2回を含めた4回掲載予定です。

【閲覧方法】

関東支部シニア会HP(<https://www.jsme.or.jp/kt-senior/>)の「シニア会からのお知らせ」の中に掲載しております。

なお、シニア会幹事からメールで掲載案内をさせていただきます。

【現状の課題】

シニア会運営委員の執筆に依存している状況から脱却することです。

今後は、シニア会会員の方々の幅広い投稿を掲載したく、積極的な投稿をお願いします。

投稿は、torige@jcom.home.ne.jp 宛にメール頂きますようお願い致します。

【投稿要綱】

○投稿内容はご自身の体験など、おおよそ以下の分類(カテゴリ)

- ・体験 ・機械 ・技術 ・自己啓発 ・趣味 ・スポーツ ・芸術 ・健康 ・その他(重複可)

○記事は署名記事

○文字数:800字程度

○図、写真は可(但し、著作権などに注意のこと)

「シニア会たより」の現状について(2/2)

11/19

年度	掲載年月日	号数	掲載題名	カテゴリ	投稿者	予定者
2020	2020年10月15日		JSME関東支部シニア会ホームページを開設			
	2020年10月26日		JSME関東支部シニア会ホームページの公開			
	2021年1月15日		「シニア会たより」原稿募集開始			
	2021年1月15日	第 1 号	私のカメラ遍歴（機械式カメラとデジタルカメラ）	趣味	村上俊明	
2021	2021年3月31日	第 2 号	鉄道趣味のカメラ遍歴	趣味	中村成治	
	2021年5月24日	第 3 号	技術計算と逆ポーランド法（RPM）電卓	体験・技術	笠井憲一	
	2021年6月18日	第 4 号	見えないものを見る	体験・技術	新山時弘	
	2021年7月5日	第 5 号	3Dプリンタ奮闘記	機械・技術	鳥毛 明	
	2021年8月8日	第 6 号	クラシック音楽と60年の付き合い	趣味・芸術	中山良一	
	2021年8月22日	第 7 号	機械要素技術者は絶滅危惧種・・・？	随想・機械	野口昭治	
	2021年10月11日	第 8 号	新型コロナ禍の日常生活	随想・趣味	曾佐 豊	
	2021年11月3日	第 9 号	散策の楽しみ	趣味・健康	高屋真二	
	2021年12月5日	第10号	高野長英を訪ね歩いて（長英への想い・・・）	随想・趣味	嶋原正義	
	2022年1月6日	第11号	寅年に生まれて～72年～	その他	中山良一	
	2022年2月13日	第12号	日曜画家の楽しみ	趣味	本阿弥眞治	
2022	2022年7月19日	第13号	スペイン音楽の楽しみ	趣味	鳥毛 明	
	2022年8月10日	第14号	横笛(ファイフ)を作る	趣味	福地真理夫	
	2022年10月10日	第15号	鉄よもやま話	随想	伊藤裕道	
	2022年11月26日	第16号	ヨーロッパ鉄道の魅力	趣味	四阿佳昭	
	2022年12月26日	第17号	散策 里山ガーデン・ズーラシア	随想・趣味	曾佐 豊	
	2023年1月	第18号				新山時弘
	2023年2月	第19号				野口昭治
2023	2023年3月	第20号				中山良一
	2023年4月	第21号				高屋真二

4-2. 支部活動に対する支援・学生会との交流会

[コメンテータ及び人生の先輩として学生との交流を図る]

2022年3月14日	関東学生会卒業研究発表講演会Web開催へコメンテータ26名派遣
2022年3月14日	関東学生会卒業研究発表講演会后、学生との対話会Web開催で実施。 学生会からの質問への回答とアドバイス、 講演「機械技術者としての職務経験」曾佐委員 (P13参照)
2022年6月18日	2022年度関東学生会－シニア会交流会第1回Web開催 関東学生会会員校会対象に実施。 講演：体験報告『私の体験 ～大学、企業、大学～(時々学会)』中山顧問 学生会からの質問への回答とアドバイスとアンケート結果の紹介 (P14参照)
2022年7月17日	2022年度 関東学生会とシニア会との役員打ち合わせ # 1
2022年9月～12月	学生会からの質問まとめとシニア会メンバー有志の回答集約
2022年11月13日	エンジニア塾第4回大学生との対話会 (Web開催) 参加学生の研究と小学生時代の説明と質疑応答
2023年1月～3月	コメンテータ募集と講演会教室割当等の準備対応
2023年3月16日	関東学生会卒業研究発表講演会Web開催へコメンテータ派遣
2023年1月～3月	対話会準備
2023年3月16日	関東学生会卒業研究発表講演会后、学生との対話会Web開催で実施。 学生会からの質問への回答とアドバイス、 学生会向け講演 伊藤委員 (30分位) 幹事校 (筑波大学) の研究室紹介とPR (10分位)

【卒研発表会後の関東学生会－シニア会対話会 開催報告】

13/19

1. 目的：卒研発表会は4年生が対象であり、既に就職が決まっている方もいるが、修士課程への進学者も半数程度はいるので、そのメンバーにとっては、就職へ向けての良いアドバイスを得る機会となる。
2. 開催日時：2022年3月14日（月） 15:00～16:30
3. 開催場所：オンライン会議（Zoom方式）
4. 出席者：（参加者 30名）参加学生5名、シニア会メンバーと大学の先生
5. 概要
 - ①就職前の懸念事項と実際（笠井委員）
 - ②先輩の体験報告（曾佐委員）
 - ・入社後に職種が変わること、その中で色々な発見がありそれが経験になること、技術は検証の積み重ねで向上することなどは学生にも伝わったと思う。
 - ・意見交流の場で質問も出て、学生側への刺激になったものと思われる。
 - ③過去のQ & Aの内容とについて（笠井委員）

2019年度のQ & Aについて、その概要とQ & Aの一部を紹介した。
 - ④学生会－シニア会意見交流の場（司会：中村委員、意見：中山会長・新山委員・高屋委員）
 - ・事前入手した学生からの質問16件のうち3件について、参加委員から回答・説明を行った。16件の質問については、後日シニア会で回答を纏め、学生会に配布することを約束(7月末に送付済)。
 - ・シニア会からの質問趣旨は、【機械系エンジニアは45万人前後いると考えられるが、機械学会員はその1割にも満たない。学生員を卒業しても正員として学会に残り、学会をうまく使って欲しい。】であることを中山会長から伝えた。
 - ⑤終わりの挨拶（中山会長） 学生たちに、次の言葉を送った。

【教育機関から「卒業」し、社会へ「入社」した後も、自身の向上のためには「学習」が大事】
6. 反省

開催の展開が上手くできなかったことと卒研発表後の開催で学生を集められなかった。

1. 目的：

『学生にシニアの経験談などを聞いてもらうことで将来の仕事を考える際の一助にしてもらう』、同時に、シニアは交流会を通じて学生の考え方や悩みを知る』機会とすること。

2. 開催日時：2022年6月18日（土） 15:30～16:50

3. 開催場所：オンライン会議（Zoom方式）

4. 出席者：（参加者合計 49名）シニア会：鳥毛会長、中山顧問、高屋幹事3名
関東支部・学生会の参加者46名（内訳は未入手）

5. 交流会概要：司会進行 高屋で以下の内容で進めた。

①シニア会会長の挨拶 鳥毛会長

②体験報告『私の体験 ～大学、企業、大学～(時々学会)』 中山顧問

③昨年度までの学生会の質問とシニア会の回答とアンケート結果の紹介 高屋

6. 感想と反省：

今回の交流会は、前日突然の開催計画連絡を受け、急遽シニア会で対応できる体制で実施したため、学生会への十分な説明準備が不足し、折角の機会を頂いた中で非常に残念であった。特に、新年度の学生会役員とシニア会役員間の連携不足、かつ、連絡なく昨年度の計画で、予定が組まれたことが大きく影響しているもので、今後の活動として反省しています。

今後このようなことがないように、シニア会としては、新年度立ち上げ時に対応できるように、年度末に6月学生会との交流会に対応した資料を準備し、次年度役員に引き渡せるようにする必要があると考えております。

以上

2022年度事業報告一覧

15/19

4-3. 「エンジニア塾」行事

2022年3月～4月	エンジニア塾計画作成
2022年4月～5月	エンジニア塾塾生募集
2022年6月26日	エンジニア塾第1回開校式(対面 + Web開催) 塾参加者(保護者8名、子供8名)シニア会(13名)(開校式議事録) 自己紹介とエンジニア塾及び科学博物館・企業・工場見学の説明会
2022年7月～8月	エンジニア塾家族単位活動 1 科学博物館・企業・工場見学 (含むWeb見学) 実施
2022/8/14,21	エンジニア塾第2回ロボットづくり(2回分散でのWeb開催) 塾参加者(保護者7名、子供9名)シニア会(10名)
2022年9月11日	エンジニア塾第3回講演会 「エンジニア塾エンジニアとは?」 中山顧問・中村前委員 つくば見学/大学祭見学の説明 科学博物館・企業・工場見学及びロボットづくりの感想とアドバイス
2022年9月～11月	エンジニア塾家族単位活動 2 つくば見学、大学祭見学実施
2022年11月13日	エンジニア塾第4回大学生との対話会 (Web開催) 参加学生の研究と小学生時代の説明と質疑応答
2022年12月4日	エンジニア塾第5回 「ことづくり」 イベント説明と質疑応答
2023年2月予定	エンジニア塾修了式

エンジニア塾の概要については、P16,17を参照願います。

「エンジニア塾」(1/2)

16/19

2021年度に引き続き、「エンジニア塾」を実施した(予算はシニア会として60千円)。なお、今年度もコロナ禍での実施で、開校式のみ一部対面、その他イベントは全て遠隔開催で実施し、一部のイベントへの学生会への協力を依頼。対象者は、関東支部エリア内のジュニア会友(小学生10-15名程度)として、10名の応募であったが2名が辞退し、修了予定者は8名(2021年7名)。

「エンジニア塾」参加者

2年生 2名
3年生 1名
4年生 1名
5年生 3名
6年生 1名

内1名は昨年から継続参加

「エンジニア塾」年間スケジュール(2022年度)

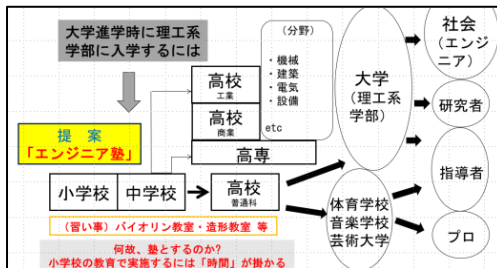
日程	項目	内容
2022/6/26 (日) PM14-17時	・ エンジニア塾開校式(対面+Web)	開校の挨拶、主旨参加者自己紹介 全体説明・スケジュール 紹介見学について説明(Web等~7月末)
6~8月(随時)	・ 見学会(3-5カ所)	各自が興味を持っている見学先候補リストから選んで、6月-8月中旬に3件以上を各自でWebまたは家族単位で見学して、感想をフォーマットに記入して、8月末までに提出すること
2022/8/14, 21 (日)	(第2回) ・ 「ものづくり」イベント ロボット作り(Web)	ロボットキットを事前に配布、4脚歩行ロボットのメカ組み立てを体験
2022/9/11 (日)	(第3回) ・ エンジニアの仕事について(Web)	エンジニアの仕事(講演20分)*2件 見学レポートへのアドバイス、質疑応答
9~11月(随時)	・ 秋休み見学会(家族単位)	筑波研究都市の研究施設など2-3カ所訪問し、先端技術や過去の機械事例を学ぶ(家族単位)感想をフォーマットに記入して、10月末までに提出
	・ 大学祭へ参加(家族単位対面/Web)	大学主催イベント候補を各自で複数選定、感想をフォーマットに記入して、11月末までに提出
2022/11/13 (日)	(第4回) ・ 大学生との対話会(Web)	学生会メンバー(大学、高専)との対話会、学生が機械系へ進学した理由や研究テーマについての質疑応答、感想をフォーマットに記入して、12月末までに提出
2022/12/4 (日)	第5回 ・ 「ことづくり」イベント(Web)	・ 事前に未来を考えた「絵画コンクール」作品配布して、「こと」についての感想と、シニア会メンバからアドバイス。感想をフォーマットに記入して、12月末までに提出
2023/2月予定	・ エンジニア塾修了式(Web)	参加者の感想(本人+保護者) シニア会メンバによるアドバイス 修了証授与式

「エンジニア塾」(2/2)

6月26日（日）

開校式：Web開催

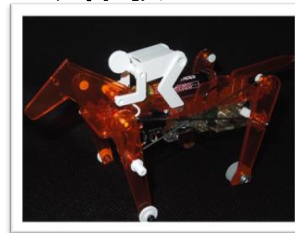
- ・ エンジニア塾の主旨説明
- ・ 企業、工場、博物館見学の案内
- ・ 今後のスケジュール説明



8月14, 21日（日）

第2回エンジニア塾

- 「ものづくり」：Web開催
- ・ 4脚歩行ロボット（メカ・ダービー）の組立
- ・ 家族でロボットづくり体験



9月11日（日）

第3回エンジニア塾

- 「エンジニアの仕事」：Web開催
- ・ シニア会メンバーの体験談2件
- ・ Web見学報告へのアドバイス
- ・ 8/14, 21 ロボット組立での疑問などへのアドバイス
- ・ 今後のスケジュール説明（大学祭への参加で、機械系を知る）

11月13日（日）第4回エンジニア塾

「大学生との対話会」：Web開催

- ・ 大学・高専生(学生会)の機械系進学動機や現在 取り組んでいる研究テーマ説明
- ・ エンジニア塾メンバーからの質問に学生が熱心に分かり易く説明
- ・ 今後のスケジュール説明

12月4日（日）第5回エンジニア塾

「ことづくり」：Web開催

- ・ 絵画コンクール作品、特に地球環境をテーマとした事例について、参加者、保護者、シニア会メンバーでの意見交換
- ・ 今後のスケジュール説明（2月実施の修了式までの活動）
- ⇒修了式で、参加者、保護者へのアドバイスなどを実施予定

5. シニア会2022年度決算報告(暫定版)

収入の部	費用	予算額	決算額	摘要
	支部からの補助金	¥300,000	¥300,000	
	総会懇親会参加費	¥0	¥0	
	特別講演会懇親会参加費	¥60,000	¥0	計画3,000X20X1回、実施せず
	交流会費懇親会参加費	¥120,000	¥0	計画3,000X20X2回、実施せず
	エンジニア塾 (未計上)	¥0	¥9,000	メダ-ビ- (「エンジニア塾」メンバー負担分)
	合計	¥480,000	¥309,000	

支出の部	費用	予算額	決算額	摘要
	旅費交通費	¥35,000	¥0	
	総会会場費	¥0	¥0	Web開催
	総会懇親会	¥0	¥0	Web開催で実施せず
	特別講演会	¥80,000	¥35,000	計画2回、Web開催で2回実施(講師会議室等含む)
	特別講演会懇親会	¥60,000	¥0	計画1回、実施せず
	見学会費	¥10,000	¥0	計画2回、実施せず
	交流会費	¥80,000	¥0	計画3回、Web開催で1回実施
	交流会費懇親会	¥120,000	¥0	計画2回、実施せず
	エンジニア塾	¥60,000	¥49,000	収入の部塾生負担金9千円、実質負担4万円
	雑費	¥15,000	¥10,000	永年会員案内
	予備費	¥20,000	¥0	
合計	¥480,000	¥94,000		

項目	予算額	決算額	摘要
収入の部	¥480,000	¥309,000	
支出の部	¥480,000	¥94,000	
残高	¥0	¥215,000	残高は支部に返金する。

新型コロナウイルスへの対応(JSMEホームページより)

2021年10月5日付けで新たな方針が提示されています

2022年4月以降(第100期以降)の一般社団法人日本機械学会(以下、本会)が主催する、会合、講習会・セミナー、講演会、国際会議、ワークショップ、コンテスト、理科教室、出張授業、見学会、資格試験等(以下、集会行事等)に関しては、理事会で審議した結果、以下の基本方針に従って開催することとします。

【開催に関する基本方針】

1. 集会行事等を開催する時期および新型コロナウイルスの感染状況等を総合的に考慮し、現地で開催する方式(以下、対面方式)を可能とする
2. 講習会・セミナー、委員会等の会合は参加者の利便性が高いため、引き続きオンライン方式、あるいは、対面方式とオンライン方式を併用したハイブリッド方式による開催を推奨する。なお、本会は、上記のようなハイブリッド方式による開催を支援する
- 3.開催方法に対面方式を含む場合は、別紙ガイドラインに沿って実施する
- 4.集会行事等の開催方式に関しては、部門、支部、委員会、理事会等、開催する主体が、開催地の感染状況等を確認しながら決定する
- 5.今後の新型コロナウイルスの感染状況等に応じて、この基本方針は適宜見直すものとする

⇒本部の方針に基づいて、各イベントの開催方式は決定する